

記入例：公証人の登録によるフランス式協議離婚(日本国籍どうし)

離婚届

受理	令和	年	月	日
第				号
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附

フランス方式で離婚された場合、用紙右側の証人欄は記入不要。

令和 年 月 日 届出
在マルセイユ日本国

氏名は日本の戸籍に記載されているとおりに記入。

大使 殿
総領事

外国人は西暦、日本人は和暦で記入。

(1) 氏名	夫 トドケデ 氏 届出	妻 リョウイチ 名 良一	妻 トドケデ 氏 届出	妻 ハナコ 名 花子
生年月日	平成2年4月3日		平成4年7月10日	
住所	フランス国ヴァルドマルヌ県 ヴァンセンヌ市トドケデ大通り1番地		フランス国パリ市第8区オッシュ 大通り7番地	
(2) 本籍	大阪府大阪市中央区大手前4丁目1番地			
(3) 離婚の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 協議離婚 <input type="checkbox"/> 調停 年 月 日 成立 <input type="checkbox"/> 審判 年 月 日 確定 <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/> 請求の認許 <input type="checkbox"/> 判決			
(4) 婚姻前の氏にもどる者の本籍	<input type="checkbox"/> 夫 は <input checked="" type="checkbox"/> もとの戸籍にもどる <input checked="" type="checkbox"/> 妻 は <input type="checkbox"/> 新しい戸籍をつくる 東京都千代田区霞が関2丁目2番地 筆頭者の氏名 外務 太郎			
(5) 未成年の子の氏名	夫が親権を行う子	妻が親権を行う子		
(6) 同居の期間	(同居を始めたとき) 平成30年1月から (別居したとき) 令和6年3月まで			
(7) 別居する前の住所	フランス国パリ市第8区オッシュ大通り7番地			
(8) 別居する前の世帯の主な仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤務者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤務者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者の世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯			
(9) 夫婦の職業	夫の職業 サービス職		妻の職業 事務職	
(10) その他	令和7年1月4日フランス国の方式にて離婚成立。 同国パリ市第8区役所作成の婚姻及び離婚証明書、及び公証人により登録された離婚協議書を添付。 ※職業は国勢調査の年のみ記載			
届出人署名	夫 届出 良一 印	妻 届出 花子 印		

パリ市以外は県名も記入。

本籍地はハイフン(-)等を使わず戸籍の通りに。
×霞が関2-2
○霞が関2丁目2番地

戸籍に記載されているとおりに日本語で署名。

(届出人の連絡先及び電話番号

※ご住所、お電話番号を仏語表記でご記載ください。